

中和抗体(カクテル)療法を始めます。

新型コロナウイルスに対応するため、神奈川モデルに参画して早いもので1年が経過しました。

当初より、外来では発熱外来・抗原検査・PCR検査(NEAR法)・ワクチン接種、病棟では疑似症患者用3床や下り搬送用に8床など、6階病棟の一部をコロナ対応病床として運用してきました。



令和3年7月頃から始まった第5波と同時に中和抗体療法が特別承認され、9月頃神奈川県医療対策本部より神奈川県モデル参画病院である当院にもカクテル療法の打診がありました。



打診後、院内にて幹部・管理

職と検討を重ね、10月に新設された神奈川モデル⑥に申請し、無事承認をされました。第5波も収束し始めていますが、新型コロナは予断を許さない状況です。カクテル療法用に用意した病床は4床です。写真は、陰圧を増強するために換気扇を常設した病室、陽性患者様を受入する際の車椅子、グリーン・イエロー・レッドと区分したゾーニング風景です。新型コロナ対応はまだまだ継続していくこととなりますが、職員一同モチベーションを保ち、地域医療を守っていきます。

